

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyogaku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様で新たな学びを推進していく必要がある。

2 事業目的

高校での学びを従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した能動的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識・技能」とともに「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする。生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする。

3 事業目的を達成するための取組

- ①VUCAの時代に対応して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成
- ・県立高校DX加速化推進事業（DXハイスクール）について、事業見込みが当初を下回ったことにより減額
- ※その他の事業は当初予算のとおり
- ②生徒の「学びたい」を支える、多様な学びの場や学びの選択肢の充実
- ・海外での学び推進事業（信州つばさプロジェクト）のうち個人留学補助について、事業見込みが当初を下回ったことにより減額
  - ・高校生海外研修支援事業について、実施希望校が無かったため減額
  - ・サマースクールを活用した多様な学びの機会創出事業について、補助金交付見込み額が当初を下回ったことによる減額
- ※その他の事業は当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	インターンシップ実施校率	%	91	100	↗	100	→	100		インターンシップ実施校率を高めることで、高校生の多様な進路選択を支援するため、令和7年度は100%以上を維持する
②-1	探究的な学びの質を高める大会・コンクール・発表会への参加生徒数	人	384	458	↗	498	↗	500		探究的な学びの質を高める大会等への参加者を高めていくため、令和7年度は500人を以上を目標とする
②-2	海外留学に向けた啓発イベント参加者数	人	114	205	↗	244	↗	220		海外留学を促進するための説明会等を実施し、総合5か年計画に掲げる海外への留学者率を高めていくため、令和7年度は220人を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2022 (R4)	85.3	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2027 (R9)	84.3
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	☆高校生の海外への留学者率	%	2022 (R4)	0.7	2023 (R5)	1.2	2024 (R6)	1.7	2027 (R9)	2.0
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校現役生で進学希望者のうち進学した者の割合	%	2022 (R4)	92.6	2023 (R6)	92.6	2024 (R7)	92.8	2027 (R9)	94.9
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校卒業後就職希望者の就職内定率	%	2022 (R4)	98.1	2023 (R5)	98.6	2024 (R6)	98.8	2027 (R9)	99.5

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額) うち一般財源		
R7年度	0	732,914	△ 151,151	△ 156,282	581,763 417,981		13.0
R6年度	0	633,362	△ 48,899		584,463 380,881	525,905	13.0
R5年度	0	436,720	6,967		443,687 354,367	369,531	13.0

事業番号	15 06 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	科学教育推進事業		10,737 千円	18,354 千円	予算現額 21,679 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	科学エキスパート講座	直接	ものづくり、イノベーションを支え、世界で活躍できる科学技術人材を育成するために、物理・化学・生物・地学・情報・数学の大学教員による実力養成講座を実施し、自然科学等を学ぶことの面白さを伝える。また、各種科学コンテスト参加者を増やし、勝ち抜いていくための実力を養成する。		
			実力養成講座5分野（物理、化学、生物、地学、情報）に各10名程度参加		
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	ものづくりやそれにつながる基礎研究に対する生徒の興味喚起や視野拡大、また、国際性の涵養や卓越性の伸長を図り、世界で活躍できるグローバル人材を育成するため、県立高校が企画して実施する、大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する国内研修を募集し経費を助成する。		
			上限300千円／校、15件		
3	信州サイエンスキャンプ	直接	理数系科目への興味・関心を高め、将来地元産業を支える科学技術系人材を育成するため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場を開催する。		
			信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究研修会、信州サイエンスミーティングを各1回開催		
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	生徒の科学的能力を培い、将来、国際的に活躍する科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定校に対する事業支援と指導を実施する。		
			指定校：飯山高校、屋代高校・附属中、諏訪清陵高校・附属中		
5	信州みらいクリエイターズ育成事業	委託	プログラミング教育を含む他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成するための、リーダー（フェロー）養成研修を実施する。		
			信州のものづくりを支える人材養成を図るため、小中学生を対象に「信州Makers教室」「信州Makersキャンプ」の開催を民間事業者に委託する。		
			信州Makers教室2地区開催、信州Makersキャンプ1回、Makersフェロープログラム16回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	県立高等学校D X加速化推進事業		0 千円	141,357 千円	予算現額 97,003 うち今回 補正額 △ 136,117 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立高等学校D X加速化推進事業（D Xハイスクール）	直接	高校段階においてデジタル等成長分野を支える人材を育成するため、D Xハイスクールを創出し、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校の環境整備を行う。 県（域内横断的な取組）及び県立高校15校		

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
3	カリキュラム編成支援事業	103,117 千円	102,469 千円	予算現額 87,716 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、非常勤講師又は学習支援員を配置する。 非常勤講師76校、学習支援員50校に配置	

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
4	学力向上推進事業	10,214 千円	9,392 千円	予算現額 7,581 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達を行う。 各教科担当指導主事連絡協議会4回、教育課程研究協議会4地区各1回	
2	進路指導力向上支援事業	直接	グローバル化、情報化の進展や生産年齢人口の急減などの社会構造の急激な変化にも対応できる「学力の3要素」の育成と、生徒一人ひとりの進路実現を図るための各校の取組を支援する。 進路指導研究協議会開催、新入試問題対策支援、入試情報システム18校導入	

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
5	県立高校における長期入院生徒への学習支援事業	3,373 千円	443 千円	予算現額 146 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県立高校における長期入院生徒への学習支援事業	直接	遠隔教育システムやZoom等のICT機器を活用し、教室と接続した同時双方向の遠隔授業や個人学習等を実施することで、長期入院中の生徒の学習機会を保障し、学校生活への復帰に向けた学習支援を行う ICT機器のレンタル、学習支援	

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
6	授業目的公衆送信補償金	19,552 千円	19,741 千円	予算現額 19,252 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	授業目的公衆送信補償金	直接	授業や宿題で著作物の利用を無許諾・有償で利用できるようにするため、学校設置者として長野県教育委員会が、県立学校の補償金を負担する。 県立中学生480人分、県立高校生41,462人分の補償金を負担	

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
7	キャリア教育推進事業		4,008 千円	3,808 千円	予算現額 3,648 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、就業体験活動等の経費を負担する。 キャリア・チャレンジ・プログラム：損害賠償保険補助6700名分		
2	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	教科競技の振興を図ることで専門性を高めた学びを実現するため、専門高校の全国大会等への参加に係る経費を補助する。 交付先：高等学校教科競技大会に参加する団体 補助対象延べ30校程度を支援		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
8	特色ある学科設置事業		6,399 千円	6,084 千円	予算現額 4,680 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立高校「未来の学校」（第Ⅱ期）構築事業	直接	「第4次長野県教育振興基本計画」の「第3編 これからの長野県教育のあり方 第2 政策」や、「特色ある県立高校づくり懇談会」の方向性を踏まえて、先進的・先端的な取組を行う実践校を指定し、本県の高校教育の質的向上、教育課題の解決及び次の時代を見据えた新たな学びの場の創造を図り、成果を県下の高校へ普及させる。 「未来の学校（第Ⅱ期）」実践校の研究支援（3校）、成果の普及に向けた報告会		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
9	「高校生学びのフォーラム長野」と「信州学」推進事業		9,773 千円	9,490 千円	予算現額 9,667 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援する。 全県立高校101校（課程）で信州学を実施		
2	「高校生学びのフォーラム長野」推進事業	直接 負担金 補助金	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供する。 スタートアッププログラム、中間相談報告会、伴奏者フォーラム、マイプロ長野県サミット各1回開催		
3	高校生による中学生の主体的な進路選択支援事業	委託	中学生の進路選択の理解を深めるため、高校生等が企画運営する高校の取組を発信する合同説明会の開催を支援する。 県内5か所、オンライン1回		

細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
10	学校芸術文化振興事業費	19,646 千円	16,218 千円	予算現額 19,218 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担する。 交付先：県高等学校文化連盟 県大会・支部大会で延べ約8,000人を支援	
2	高等学校文化振興事業（大会生徒派遣事業）	交付金	高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助する。 交付先：県高等学校文化連盟 全国大会（13大会）、ブロック大会（5大会）への参加支援	
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を助成する。 約4,000人を支援	
4	2018信州総文祭を次世代につなぐ文化部活性化事業	負担金	2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担する。 負担先：県高等学校文化連盟の該当する専門部 講習会のべ60回	
5	ウィーン楽友協会との姉妹提携事業	直接	小諸高校音楽科生徒から世界レベルの音楽技術を習得した音楽家を輩出するため、ウィーン楽友協会との姉妹提携を活かし、一流の音楽家による実技指導等の機会を提供する。 小諸高校生10名程度をウィーンに派遣	



細事業 No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
11	グローバル人材育成事業	255,742 千円	257,107 千円	予算現額 311,173 うち今回 補正額 △ 20,165 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業	直接	WWL事業のカリキュラム開発拠点校、共同実施校を中心に研究開発した、イノベティブなグローバル人材育成に資する文理横断的な学習プログラムをデジタルコンテンツ化し、県内の高校生が自宅等学校以外でも受講できる仕組みを整備するとともに、受講した高度な学びについて、単位認定の在り方を調査研究する。 拠点校（上田）、共同実施校（松本県ヶ丘）、連携校16校	
2	「海外での学び」推進事業（信州つばさプロジェクト）	直接 負担金 補助金	高校生の留学気運の向上を図るため、留学フェアの開催や事業の広報活動等を行う。 高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、教育委員会と連携協定を結んでいる台湾をはじめ、韓国、カンボジア、アメリカ等で、県が企画する短期留学プログラムを実施する。 高校生の留学者数を倍増させるため、個人留学に対して、行先と期間に応じて経費の一部を補助する。補助金交付先：県内の高校生 県企画4コース（100名見込み）、個人企画（短期・長期 15名見込み）	
3	高校生海外研修事業	補助金	高校生の海外大学進学を促進させるため、国費による学校単位の留学支援を行う。 補助金交付先：県内の高校生 学校単位の留学企画 0 件	
4	信州英語教育ルネサンス事業	直接	英語4技能をバランスよく育成するため、小・中・高校の英語教員を対象にした研修やパフォーマンステストの実践を研究する協力校を募集し、モデル授業を普及 小中校の英語教員を対象とする長野県英語教育フォーラム1回、研究協力校、教員研修	
5	児童生徒の英語力向上支援事業	直接 委託	学んだ英語を活用して、他者と協働しながらコミュニケーションを行うことを通して、英語力や学習に対する意欲を高めるため、国内で海外留学体験機会を創出 委託先：民間企業・団体 中学生向け1日海外留学体験企画2回	
6	外国語指導助手（ALT）配置事業	直接 委託 負担金	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。 高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等への外国語指導助手の配置を業務委託する。委託先：民間事業者 ALT52名を配置	
7	サマースクールを活用した多様な学びの機会創出事業	補助金	子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、高校生が国際的に活躍する社会人や大学生等と交流するサマースクールの実施を支援する。 ※ 1件あたりの補助金交付見込み額の減 サマースクール実施 3か所	